

水稻技術情報 NO-10

令和7年7月2日
JA 営農支援課

『草丈長い、茎数は回復 中干しの準備を』

1. 水稻の生育状況(あきたこまちR)

前回調査時(6月18日)以降、高温と少照傾向が続いております。草丈は平年比115%と長く、葉齢から見た生育は「2日程度早い」となっております。茎数については回復傾向にあるため平年並となっております。

現在の生育と今後の週間天気から幼穂形成期は平年並である(7/14頃)と予想されますので、各自の圃場状態を見回り、中干しの準備を進めてください。

水稻定点調査圃の生育状況(6月30日)

※あきたこまちRの平均田植日は5月21日

※平年値は最高値と最低値を除く過去10年の平均 ※あきたこまちRはあきたこまちとの比較

品種(平均)	草丈(cm)		茎数(本/m ²)		葉齢(葉)		SPAD	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
あきたこまちR	44.5	38.7	349	355	9.2	8.8	44.4	43.5
(慣行)	42.2		328		9.1		44.1	
(側条ヘ-ス等)	45.7		360		9.3		44.5	
前年比(差)	111%		93%		+0.3 葉		100%	
平年比(差)	115%		98%		+0.4 葉		102%	
たつこもち	51.9	41.3	388	366	9.0	8.9	45.4	44.4
きぬのはだ	46.3	39.4	373	422	9.0	9.2	42.4	42.6
ときめきもち	42.6	37.9	394	384	9.3	8.9	42.9	42.7
サキホコレ	46.7	42.0	361	463	9.0	9.4	44.3	44.5

2. 今後の技術対応

1) 中干し

田植えの早い圃場や田植時に側条肥料を使用している圃場では、過剰分けつ気味の圃場も見られております。圃場を確認しながら葉齢9葉を目安に中干し・溝切りに入ってください。

【中干しの効果】: ①無効茎の抑制 ②根の健全化 ③田面の硬化 等

2) 倒伏対策

中干し後でも「葉色が濃い」「茎数過剰」等により倒伏が心配される圃場は、つぎの薬剤で対応してください。

ロミカ粒剤1成分 [出穂25~10日前 2~3kg/10a、散布後5日間は湛水状態]

3) 病虫害防除

【葉いもち病】

いもち病の防除をされていない圃場では、7月中旬又は初発時につぎの薬剤を散布する等の対策をしてください。

コラトップ1[※]粒剤12・1成分[出穂5日前まで 散布量1kg/10a]

【イナゴ】

イナゴの発生が目立っております。稲の食害が見られる場合は、畦畔沿いを主体につぎの薬剤で防除してください。

①「トレボン粉剤DL」 2~3kg/10a、②「トレボン乳剤」 1000倍~2000倍

※ 圃場でばか苗が見えた場合の抜取りにご協力ください。

「水稻技術情報」<https://www.ja-ogata.or.jp/farming2/>をホームページで閲覧の際は、これまで必要だったパスワード入力なしで閲覧可能になりました。